

Société Franco-Japonaise de Philosophie

日仏哲学会

会報78号 2016年1月30日

☆ 2016年春季研究大会のプログラムが下記のとおり決定いたしました。

(プログラムはHPにも掲載いたします。)

日時：2016年3月19日(土) 9時30分-17時45分

会場：京都大学 吉田キャンパス (本部構内) 文学部新館 (詳しくは本会報末尾のマップを参照)

- ・一般研究発表 A会場 2階 第4講義室
 B会場 2階 第5講義室
 C会場 2階 第6講義室
 D会場 2階 第7講義室
- ・シンポジウム 1階 第1、第2講義室
- ・理事会 2階 第3演習室 (12時00分-13時00分)
- ・会員控え室 2階 第1演習室 (14時30分までは第2講義室も使用可)

懇親会

時 間：18時15分-20時15分

場 所：京大生協吉田食堂2階

会 費：5000円 (非常勤・学生4000円)

*懇親会への参加が確定されている方はメールにて事務局までご連絡ください。

タイムスケジュール

1. 一般研究発表①②③ 9時30分-11時50分
2. 昼食 11時50分-13時00分
 理事会 (第3演習室) 12時00分-13時00分
3. 一般研究発表④⑤ 13時00分-14時30分
4. シンポジウム 14時45分-17時45分
5. 懇親会 18時15分-20時15分

一般研究発表

時間	会場	A会場 (第4講義室)	B会場 (第5講義室)
		司会者	村上靖彦①②③ 亀井大輔④⑤
① 9:30-10:10	発表者	石井雅巳	谷内洋介
	題目	レヴィナスによる被投性解釈の変遷とその意義	双極性障害の躁状態における時間性と不安—サルトルの『存在と無』から見た現象学的考察—
② 10:20-11:00	発表者	古怒田望人	田村正資
	題目	中期レヴィナスにおける「老いの主体」	メルロ＝ポンティとマクダウエル——知覚の弁証法と概念主義——
③ 11:10-11:50	発表者	田中菜摘	長坂真澄
	題目	Jeの背後における主格への道行—レヴィナスによるデカルトのコギト解釈を通じて—	無限のアンティノミー: リシールのカントール読解を考察する
11:50-13:00	昼食		
④ 13:00-13:40	発表者	鈴木康則	宮澤由歌
	題目	初期デリダにおける隠喩の問題	ジョルジュ・バタイユの思想における暴力性——対自的暴力の悪性について
⑤ 13:50-14:30	発表者	伊藤潤一郎	伊東俊彦
	題目	ナンシーはデリダに何を見たか——1960年代のジャン＝リュック・ナンシーの思考について	レヴィ＝ブルユールにおける相対主義について

時間	会場	C会場 (第6講義室)	D会場 (第7講義室)
		司会者	三宅岳史①②③ 原和之④⑤
① 9:30-10:10	発表者	吉野齊志	なし
	題目	ベルクソンにおける「直観」の多義性 —「形而上学入門」に基づいて	なし
② 10:20-11:00	発表者	長谷川暁人	平田公威
	題目	ベルクソンにおけるリズムの果たす役割—どのようなリズムが持続を暗示しうるのか—	『意味の論理学』における動詞の理論について——不定法、直説法、複合過去をめぐって——
③ 11:10-11:50	発表者	奥堀亜紀子	エヴゲーニイ・ブリノフ
	題目	ジャンケレヴィッチの道徳形而上学 ——「道徳上のコギト」を中心として	Mots d' ordre chez Deleuze et Guattari : statut épistémologique et fonction politique
11:50-13:00	昼食		
④ 13:00-13:40	発表者	清水雄大	樋口朋子
	題目	Dispersion et technique : Foucault lecteur de l' Anthropologie	スピノザ『エチカ』の論証について——第1部定理19備考は何を示しているか
⑤ 13:50-14:30	発表者	春木奈美子	堀江郁智
	題目	アンドレ・ジッドの燃やされた手紙—ラカンの性別の論理式から読む	ジルバール・シモンドンの個体化論における「情報」概念の特異性について

シンポジウム

時 間：14時45分-17時45分

会 場：第1、第2講義室

テーマ：〈フランス思想におけるイタリア〉

司 会：檜垣立哉

発表者：岡田温司「アガンベンとフランス現代思想（仮）」

水嶋一憲「イタリア・ポストオペライズモとフランス・ポスト構造主義の出会いとその後
：ノーフューチャー、前未来、未来の後（仮）」

武田宙也「「生存の美学」と〈生の形式〉—フーコーとアガンベンにおける他なる生の構想」

★ 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。会費は春季大会会場で直接お支払いいただけます。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。(事務局よりお配りした振込用紙をお持ちの方はそちらをご利用ください。) 会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。(なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただきます。)

★ 「会報」の電子媒体での送付についてのお願い

ご了承の下ですでに多数の方に「会報」をメール添付でお送りしていますが、まだお申し出いただいていない方で、「会報」をメール添付で受け取ることで構わないという方がおられれば、下記事務局までご一報下さい。

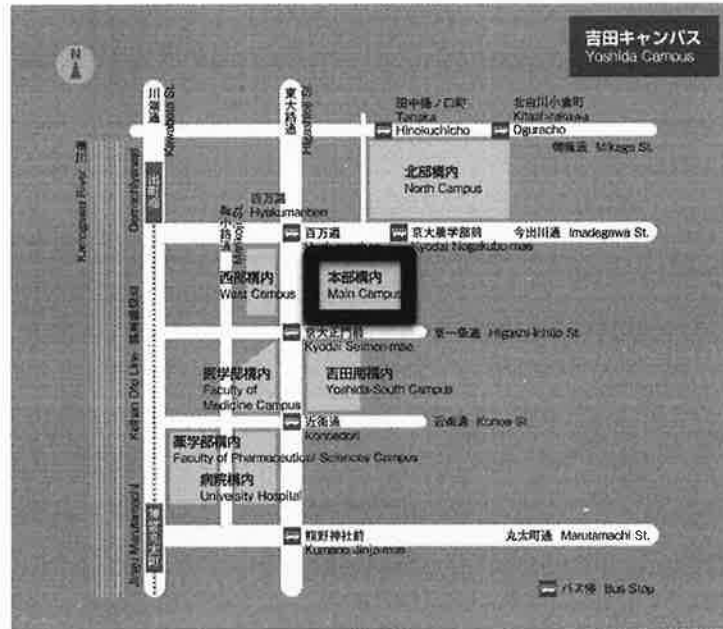
【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

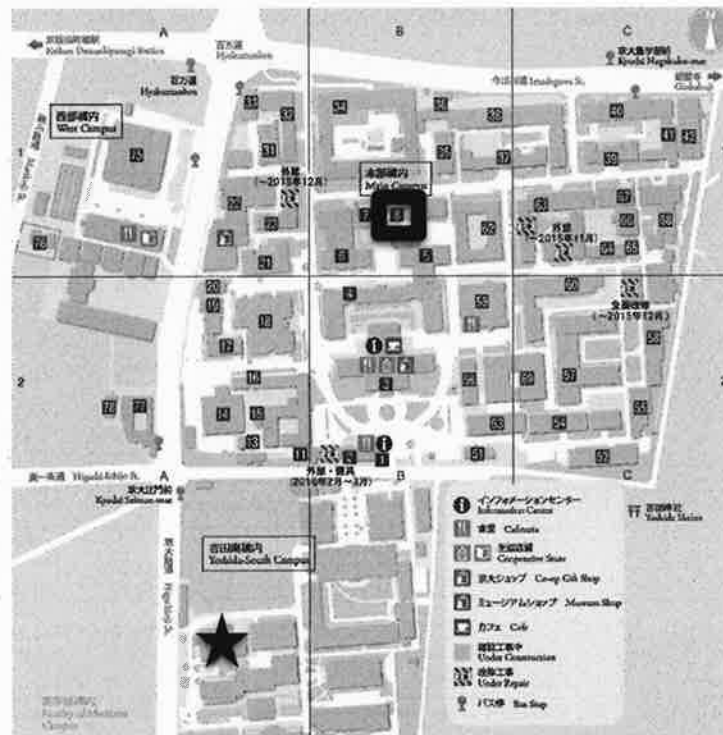
郵便振替口座記号番号:00120-6-194046 / 加入者名 :日仏哲学会

京都大学 吉田キャンパス 構内配置図 (京都大学HPより)



会場は「本部構内」です。

京都大学 吉田キャンパス 本部・西部 構内マップ (京都大学HPより)



研究大会会場： **8** 番の建物 (文学部新館)

懇親会会場： **★** (吉田食堂2階)